

平成28年9月6日

防災塾・だるま
理事 片山 晋 様

大和市自治会連絡協議会
会長 山元 哲



平成28年度大和市自治会連絡協議会防災研修会の講師について（お礼）

初秋の候、先生におかれましては益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

日頃より、当協議会の活動に対しまして、ご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、この度は、防災研修会の開催に際しましては、ご多用の折にも関わらずご指導をいただき誠にありがとうございました。

お陰様で、J-DAGを実際に体験し、身をもって発災後1時間の対応の大切さ、難しさを感じ取ることができました。また、先生の自治会活動を通しての的確なご助言は、参加者にとって非常に有用なものであり、今回の防災研修は、防災意識をより高める好機とすることができました。

当協議会といたしましては、地域における自主防災意識と災害時の対応力をさらに高めてまいりたいと存じますので、今後ともご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、先生のご健康とますますのご活躍を祈念申し上げまして、失礼ながら書中にて、お礼申し上げます。

<事務担当>

大和市自治会連絡協議会事務局

☎ 046 (260) 5130

- ・状況の判断と正確な情報提供、常に訓練あるのみ。
- ・トランシーバーの使い方。
- ・トランシーバーの活用は有用であると思う。本部と5グループの交信、指示依頼のやり方の訓練は大変良かった。
- ・本部機能の大切さ。連絡網の作り方。トランシーバーの使い方。
- ・リーダーになる方の指導の力が大きいと思います。この様な研修をいろいろな方に参加して（一人でも多く）もらいたいです。
- ・トランシーバーは男性の声より女性の声が透き通って聞きやすい。
- ・状況に応じた判断力が必要と感じた。人の判断力を養うために、本日のような訓練を繰り返すことが大切だと思った。
- ・実際の状況時にどう対応（指示）するか。概要がおぼろげながら理解できた。従って、今後、このような演習をシミュレーションし繰り返し練習していきたいと思います。
- ・トランシーバーでの情報連絡は他の人たちにもまわりの状況が手に取るように把握ができて非常に良いと思う。今後、自治会に配備を検討したい。
- ・情報伝達が非常に大事なことを実感できた。
- ・トランシーバーの使い方で混乱していた。グループと部屋番等の両方で混乱した。
- ・今回、初の参加でした。ゲームなので、ルールの説明がなかったようですので、その後、段々わかってきました。リアルでは、もっと大変な状況になると思います。自治会で、実施する際に考えるきっかけをいただきました。
- ・トランシーバーの活用が役立つ。
- ・トランシーバーが使用できるようになった。
- ・地域の違いはあると思いますが、今日の訓練は参考にして自身の地域に合った防災活動をしてまいりたいと思います。
- ・初動の行動について。
- ・震度6以上だったら、茫然とするばかりでこんなことやってられない。
- ・J-DAGを我が自治会でも体験したくなりました。何をどう準備したらいいのか、そのような資料をいただけたらと思いました。本部の状況を把握するのにとても役立つと思いました。トランシーバーの性能に驚きました。個人状況の書類提出には「個人情報保護法」を強く主張する人が多く、全員の書類提出には至っていないのが現状です。まずは、一軒ずつ書類を提出していただけるように頑張りたいと思います。
- ・地震発生後1時間の対応の大事さが分かった。
- ・リース方式でも、レンタルを希望します。
- ・全体の流れの方向が良くできていた。
- ・トランシーバーでの連絡が必要だと思いました。
- ・トランシーバーの有用性が分かりました。
- ・発生時の玄関移動は大事だと思った。無線はゆっくり、伝達した方が良かった。
- ・防災家族カード、安否確認手法、MAP。防災に関する基本的知識。
- ・無線の効果（ゆっくり、しゃべらないと聞き取れない。）近所の普段のつきあい。年寄りが今後多くなり、そのために伴う資機材の確保。無線連絡は必ず同じことを2回言うこと。
- ・直後家族情報カードとトランシーバーの運用。
- ・自分だけでなく、周り近所を見ること。救急、消防は来ない。「とにかく動く」。
- ・何回もやる必要があると思う。

- ・コミュニケーションの重要性。情報の重要性等々を再認識できた。
- ・トランシーバーをうまく使って情報を共有することが大事だと思います。
- ・ゲームの指示に従い過ぎた。ある程度、アドリブで済ましていくことが必要だなと感じた。トランシーバーの使い方が難しいと感じた。日ごろから使っていく必要を感じた。とにかく実践してみないと分からないことが分かった。日常から使っていくように心がけたい。
- ・実際にできるか。各々ができることをする。
- ・子どもの姿が見えない。
- ・安否確認が一番大事だと思った。
- ・基本行動マニュアル制定。各自治会において独自のマニュアルを制作したい。
- ・トランシーバーでうまくやりとりできるか。聞きやすい言葉を使うことが必要だとわかった。また、物があちこち行ったときに、どこにあるのかを調べるのにトランシーバーは有効であった。
- ・報告する側と本部が知りたがっていることにチグハグなところがあると感じた。トランシーバーの使い方、自分で名乗ること、誰あての通信かをはっきり言わないと混乱すると思った。
- ・全体的に役立ちましたが、特に災害時系列対応については、非常に大切な事項で、今後、主体的実践につなげるルールを検討していきたい。
- ・各々の役割分担を決めて行動が大切。
- ・情報が多くて混乱する。情報整理の必要性。
- ・安否確認の重要性とその難しさ。携帯電話の不通の中での連絡方法など参考になりました。
- ・安否確認の仕方について勉強になった。トランシーバーの必要性を強く感じた。地域の生活者の状況を全員で共有できることが大事と思った。
- ・その時、その時の判断がいかに重要かということが勉強になりました。
- ・コミュニケーションの確立は難しいと改めて感じた。
- ・何事も一度ではなく、繰り返しの訓練が必要だと感じた。
- ・トランシーバー活用の有効性を感じた。安価なものでも多数の用意が必要。より実際に即した訓練の実施が必要と感じた。
- ・自治会の防災活動事例。J-DAG 訓練。トランシーバーの重要性。

⑤今後、自治連として行ってもらいたい研修会はございますか。(自由記入欄)

- ・同様の研修会を継続して、より多くの方が受講できるようにして欲しいです。
- ・J-DAG の体験がうまかったチーム、または、うまい自治会をモデルに他の自治会が見習いたい。
- ・自治会加入依頼のやり方とコツについて。
- ・自治会トラブルの処理について (市役所関係・他)
- ・次回も開催をお願いします。
- ・特にこれとは思いつきませんが、体験型の実習はとても身に付くので、そのようなものを検討していただけたらと思います。
- ・トランシーバーが欲しい。
- ・今回の研修を広いグラウンド等で実際の住民になり行うともっと良いゲーム・研修になると思う。
- ・今回の講座を年に何度も繰り返して実施することが良いと思います。
- ・継続は力なり。
- ・自治連と学校の連携をどうするか。
- ・各自治会に来て研修会を行ってほしい。
- ・J-DAG 体験の反復訓練 役に立つ研修を。

- ・避難所の運営方法について（事例発表を含めて）
- ・自治会に入るメリットは何か？若い人や高齢者で自治会加入離れが出ているので。
- ・継続した研修の実施をお願いします。スタッフの皆様、本日はありがとうございました。